

つつじ

2025年1月発行

第67号

KOUSAIKAI



目次

- P 1 ◆ 新つつじヶ丘ホーム 完成
- P 2 ◆ 令和 7 年を迎えて 新年のごあいさつ ナイスハートフェア 文丸公園での活動
- P 3 ◆ 秋まつり スポーツ大会 消火器訓練
- P 4 ◆ 夜間防災訓練 防犯訓練 イルミネーション ホーム引っ越し



発行元：社会福祉法人 広済会 発行責任者：理事長 石倉信男
〒376-0123 群馬県桐生市新里町武井455-1
TEL：0277-74-1530 FAX：0277-74-5830
URL <https://www.tsutsuzigaoka.net>





「令和7年を迎えて」

新年のあいさつ」

新年明けましておめでとうございませう。本年も利用者様、保護者様、地域で支えていただいている皆様、そして職員各々のご多幸をお祈り申し上げます。

さて、昨年はホームの本部棟と文丸公園の完成、また11月には地元の新里フェスのイベントを開催していただき、地域へのアピールに繋がったと思います。当法人の基本理念であります、

一、利用者の人権の尊重とサービスの質の向上
一、福祉人材の育成と働きやすい魅力ある職場づくり
一、地域のニーズに応える法人運営の実現

それぞれの項目ごとに職員一同邁進できた年でもありました。本年も関係皆様のご多幸とますますのご発展を心よりご祈念申し上げます。

理事長 石倉信男

「ナイスハートフェア」

「第34回群馬ナイスハートフェア」が9月10日、11日、12日の3日間にわたり開催されました。

群馬県内の障害福祉施設が参加し、利用者様の絵画や手芸品が展示されました。クローバーでは、かぼちゃまんじゅうとかぼちゃぶりを販売し、お客様からも「また来年も買いたいです」とのありがたいお言葉を頂くことができました。会場では他にも、八木節同好会様による演奏と踊りなどの披露があり、大変盛り上がりしました。

3日間でも多くの方が来場され、展示・販売ともに昨年度よりも盛況でした。このようなイベントは、広済会やクローバーを知っていただける良い機会となりますので、今後も積極的に参加し、来年度はさらに盛り上げられると良いと思います。

クローバー 斉藤 理絵子



「文丸公園」

つつじKidsクラブでは、小学生から高校生までの児童が様々な遊びを楽しんでいます。広済会が令和5年に整備した文丸公園も、祝日などには遊び場として利用しています。先日は待望の遊具第一号となるブランコが完成し、子どもたちを連れて遊びに行きました。公園に到着すると、子どもたちはブランコにまっしぐら。気持ちよさそうにブランコをこいで、小さい子は「押して！」と職員に頼んだり、お兄さんに押ししてもらったりしながら、笑顔いっぱいひのひと時を過ごしました。

キッズクラブ 小暮 修



「秋まつり」

10月19日の秋晴れの中、社会福祉法人広済会の秋祭りが開催されました。

秋祭りの開催趣旨として、「共に支え合う社会の構築を目指し、地域住民の皆様との連帯、相互理解を深める。地域住民が一体となり、もてなす側ともてなされる側が地域関係者で構成される意義深い催しを目指す。」を掲げ、キャッチコピーを「地域の力で支え合う秋祭り」としました。

たくさんの方の来場者があり、利用者様、職員、地域の方々の笑顔があふれ、楽しまれていた様子が見られました。また、皆さんの心に残るような思い出の一つになったと思います。

光の園 柴塚公子



「スポーツ大会」

10月6日、群馬県障害者スポーツ大会（フライングディスク競技）が群馬県立ふれあいスポーツプラザで行われました。

日頃なかなか発揮することができなかった力を、この機会に精一杯出し切り、楽しい一日を過ごしていただくことを目的としました。当日は天気が悪く、雨の心配もありましたが、無事に参加することができました。

少し緊張した表情も見られましたが、普段関わることのない他事業所の方々との交流や、精一杯フライングディスクを投げ、嬉しそうにメダルを受け取る姿は、職員にとっても喜びに満ちた光景でした。

光の園 佐藤 恋



「消火器訓練」

11月26日、つつじヶ丘学園で消火訓練を実施しました。桐生消防署の方々にお越しいただき、消火器の使い方や初期対応のポイントをご指導いただきました。その後、教わった内容をもとに、コーンを炎に見立てた消火訓練を行いました。

普段から消火器は見慣れているので、使い方はある程度理解しているつもりでしたが、実際に操作してみると、距離感が近すぎたり、慌てて操作を誤ったりする場面がありました。

火災はいつ起きるかわかりません。日頃から初期動作や消火器の操作方法を定期的に確認し、いざという時に慌てず対応できるように備えることが重要です。

はなぞの 阿部 恵大



「夜間防災訓練」



空気が乾燥する季節、つづじヶ丘学園では10月25日に夜間防災訓練を行いました。地域協力員の方々も多数参加し、利用者様の避難に協力していただきました。いざ火災報知機のベルが鳴ると、恐る恐る園庭に避難してきた利用者様を地域協力員の方が避難場所へ声をかけながら手をつなぎ、誘導を行ったり、集合場所でライトを持って温かく迎えていただきました。本番はないに越したことはありませんが、消防の方から「秋になり全焼の火事が増えていきます」と話がありました。皆様もくれぐれも火の元にはご注意ください。

みたけ寮 小池 利明



「防犯訓練」

障害者サービス事業所クローバーでは、10月31日に防犯訓練を実施しました。

防犯訓練は、敷地内に不審者が侵入した際に利用者様や職員の方の安全を守るため、必要な知識や方法を学ぶ目的で行いました。



今回の訓練では、桐生警察署の生活安全課にご協力いただき、①さすまたの使い方、②緊急時の正しい通報の方法、③不審者に襲われた時に身を守るための護身術の3つを講義と演習を交えて教えていただきました。すべてがいざという時に役立つ内容で、大変勉強になりました。いざという時が来ないことが一番ですが、今回学んだことを職員一同で周知したいと思えます。

クローバー 新井 隼人

「秋の花植活動およびイルミネーション装飾事業」

令和6年10月29日、文丸公園において秋の花植活動を実施しました。多くの友の会会員の活動により、44鉢のプランターに花を植えることができました。来年の春には花が咲き、文丸公園が一層彩られることを楽しみにしています。令和6年12月2日には、イルミネーションの装飾活動を行いました。



昨年度から始まったこの事業は、今年で2回目となります。昨年の「つづじヶ丘光の園」に続き、つづじヶ丘学園および新築したグループホームにもイルミネーションを装飾することで、さらに煌びやかな演出を行うことができました。

事務局 中島 慶昌

「つづじヶ丘ホームの引っ越し」



つづじヶ丘ホームはこれまで桐生市とみどり市に合わせて6つのグループホームを運営しておりました。そのうち3ホームの老朽化が著しかったため、利用者様が今まで以上に満足して生活できるよう、新たに3ホームを建設しておりました。その工事が10月に終了し、11月27日、28日の2日間で行った引っ越しを行いました。

引っ越した皆さんは、綺麗で美しい建物にとっても感動していました。荷物の片付けはまだまだこれからですが、皆で協力しながら取り組んでいこうと思えます。

ホーム 菅原 剛

